

# 議会だより

NO.  
37

平成26年8月発行

## 《5月定例会》

- 議案審議……………P 2
- 一般質問 7人が登壇……………P 3～9
- 総務文教常任委員会報告……………P 10
- 産業建設常任委員会報告……………P 11
- 議会活性化委員会報告……………P 12
- 追跡調査……………P 13
- ようこそみなべ町へとお知らせ……………P 14



# 5月定例会

5月定例会は、5月20日から30日までの11日間の会期で開かれました。町長から提案された専決処分承認について2件のほか、条例の一部改正、26年度補正予算などの5議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。一般質問では、7名の議員が登壇し、活発な質問をしました。

## 主な議案審議Q&A

### 軽自動車税

**Q** 軽自動車税については昭和59年

以来の税率改定だが、どのように変わるのか。

**A** 平成27年度から、2輪90cc以下2,000円、90cc超12,5cc以下2,400円、125cc超250cc以下3,600円、250cc超6,000円、ミニカー3,700円、軽四貨物家用5,000円、軽四乗用家用10,800円などです（軽四は平成27年4月1日以降の新車から）。

また平成28年度から新車から13年経過した軽四は重課となり

ます（軽四乗用家用の場合12,900円となります）。

### 法人住民税の税率改正

**Q** いつからどのように変わるのか。

**A** 現在法人税割は法人税の12・3%であるが、26%下がり9.7%となります。平成26年10月以後に開始する事業年度からの適用になるため、実質27年度中の申告から税率が変わることになり、全ての適用は28年度からとなります。

### 国税条例の一部改正

**Q** 平成24年度から25年度への課税

割合（均等割、平等割、所得割、資産割）より、25年度から26年度へのアップが大きく感じるが。

**A** 平成26年度の国保の支出、医療費を見込みそれぞれから収入を見込みます。被保険者の所得により国からの普通調整交付金が変わります。課税割合が上がると税金が高くなるとは限らないが、一人当たりの税金が25年度は9万3310円でしたが、26年度は8万7568円になる予定です。

### 地域ふれあいルーム

**Q** 高城、清川小学校で開設される、ふれあいルーム事業について、保護者説明会、学校関係はどうなっていますか？

**A** 応募のあった保護者には説明会をしていく考えです。また指導員を兼ねた安全管理人により管理していきます。学校側としては勤務時間が終わっています。管理者を中心として見守っていただけたらと思っています。

**Q** 10周年記念事業として企画されている文化祭について、

これを機にもっと幅広く盛り上げ、掘り起こしていつていただけたいと期待しますが？

**A** 高城、清川、旧村町で分散開催している文化祭には素晴らしい出品がされており、こうした催しを一つにできれば更に素晴らしくなるのではと思っております。それを具体的にごまごまとていくかは今後検討していきます。

### 企画総務費

**Q** みなべ町10周年記念イベント実行委員会はイベント企画に忙殺されており、町の新キャラクターをどうするか検討するこ

とは困難な状況ですし、町民を代表する構成とも言い難いです。新たなキャラクターの検討組織を別につくり、新キャラクターの是非も含め町民のみなさまの意見を反映できるようにお願いします。

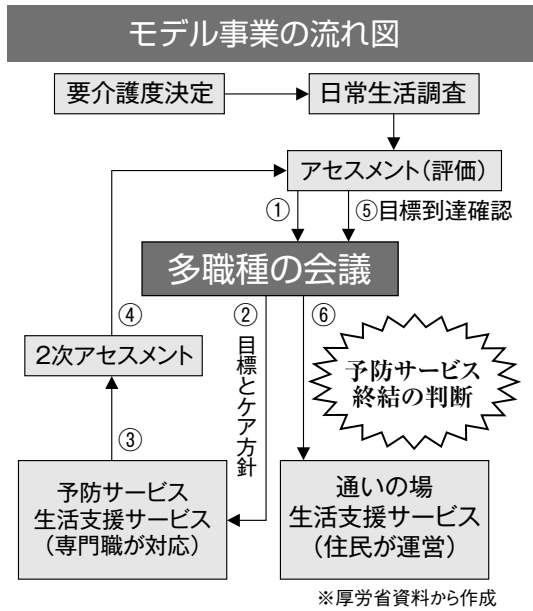
**A** プララとウーちゃんは元々旧村、旧町で大切にしていたキャラクターですので、今後とも十分尊重して、大事に使って行きます。新キャラクターに切り替える考えはありません。実行委員会でのご意見を聞かせて頂きながら、町当局の中でやれることがありましたら、させて頂く事になると思います。



いけだ まさと  
池田 真作人 議員

## 福祉 介護福祉の大改悪について

### ➡ 地域包括ケアシステムの構築を

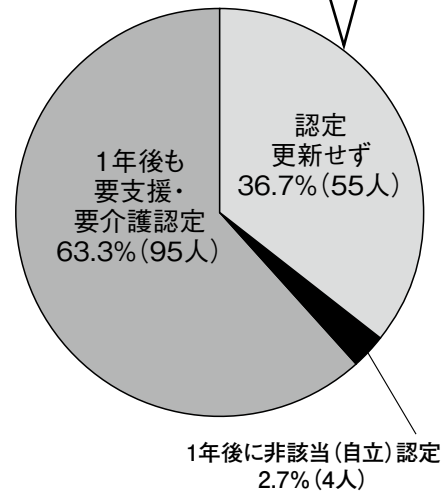


**質問** 介護保険には軽い方から要支援1、要支援2と、要介護1から要介護5まで7区分あります。国会では現在審議中の要支援1と2、これを保険給付から外し、更に要介護1と2も同様に外そうとしています。今でも困っている方がおられるのに、これはいかがなものかと、またみなべ町ではどうするのか町長の意見を聞きたい。

**町長** 予防給付の見直しには要支援1と2の訪問介護、通所介護のサービスにつきましては平成29年度までに段階的に市町村が地域の実情に応じた取り組みが実施できる地域支援事業に移行していきたいものです。その地域支援事業のやり方も各市町村によってサービスの違いが出てくる危惧が非常に大きく、ばらつきが出てきよいかと思います。

一般質問は、平成26年5月22日に7人の議員が行ないました。

モデル事業利用者の4割は更新認定を受けず「卒業」



今までサービスを受けられていた方がサービスが悪くなったと言われることのないようにがんばりたいと思います。けれども介護保険料のご負担も上がってきよいかと思います。みなべ町に住んで良かったなどと言われる施策にして参りたいと考えてございます。

**再質問** 地域支援事業の中でヘルパーやケアマネージャーによる予防的なプランの作成等

**町長** みなべ町にとりましては今後詰めていく部分が沢山あるかと思っております。現在の事業所がなくなるわけではなく、サービスの部分につきましては総量としては変わらないと思っております。制度上そのうなるというだけの話で、サービスは地域支援事業所が受けるという

ことで、その経費については介護保険料で賄うという違和感を感じるわけですが、第6期の計画策定の中でその部分が大きく占めるであろうかと思っております。

**再々質問** 特養の機能の重点化、入所対象を要介護3以上に限定。要介護1と2を事実上排除という発表の中、要介護3以上でないの特養へ入れないのか。

**町長** 原則、特養への新規入所につきまして是要介護3以上の高齢者に限定されてございます。今回の改正ポイントの地域包括ケアシステムの構築は必要不可欠であるということでは認識してございます。いづれにしても、みなべ町に住んで良かったなど思われるようにしたいと思っております。







しんぞうけんじ 真造賢二 議員

## 教育 受領・六十川地区児童の通学問題

### ➔ コミュニティバスをスクールバスとして

**質問** 5月議会で補正予算が組まれていますが、進捗状況を教えてください。

**町長** 受領・六十川地区児童の通学支援は、4月よりマイクロバスの運転手さんの協力を得て、公用車を利用して行なっています。今後は公共交通会議を経てコミュニティバスをスクールバスとして運行していく方向で検討しており、9月から実施できればと考えています。

**教育長** 3月24日受領・六十川地区の方々172名の署名を頂き、大変重く受け止めています。今後様々な会議を踏まえて安定的な運行を進めていきたい。再質問 速やかに地元に出向き進捗状況を報告して頂きたい。また答弁で言及されなかった下校についてはどうして頂けるのでしょうか？再三訴えてきましたか？

**教育長** 説明会は時期をみて行かせて頂きます。通学困難地区に対し個別に全面的に支援するという新たなサービスを提供するという事には慎重にならざるを得ず、受領地区の下校支援は考えていません。

**再々質問** 下校については町長にも答弁をお願いします。今年度、堺地区に対しては490万円の予算で登校1便、下校2便のスクールバスが運行されています。路線バスがなくなり既得権保全ということでしょうか。

それと比べて受領・六十川地区への対応はどうでしょうか？同様に路線バスがなくなるとにも関わらず、受領・六十川の関係者の方々が声を大きくして再三訴え、署名までし

ないと登校について対処して頂けませんでした。下校については従来通り…いかにも不公平ではないですか？また既得権ということであれば、受領地区には最大5便の路線バスが運行されていた時期があり、当時はそのバスを利用して登下校して

いました。それが時代とともに便が減り、この3月に最後の1便がなくなりました。つまりその過程で下校に利用していた便がなくなっているわけです。その時点で行政は既得権を守ってくれませんでした。その結果、受領・六十川地区の方々には不公平も言わず、長年我慢してきているのですよ。

堺地区は全行程3km、受領地区は6kmあり、特に辺川からの2.5kmは道幅が狭く、カーブも多く、非常に危険です。ここを歩けると



われるのでしょうか？町長も新聞社の取材に対して「登下校ともコミュニティバスで対応できるように検討」と答えていらつしゃいます。受領・六十川地区の皆さんも期待されています。もし教育長の答弁通り、下校支援を考えていないのであれば非常に残念な結果です、本当にそれが結論なのですか？

**町長** 帰りについてコミュニティバスをスクールバスとして運行できない部分がありますので、運用でどうしていきけるかを今後詰めさせて頂きます。帰りについては地域の皆さまと話し合いをしたいと考えています。

**教育長** 不公平ということですが、既存の廃止前のバス路線について重点的に考えた結果です。町長答弁同様にコミュニティバスをどう利用できるか検討したいと考えています。

※他の質問

- 南部郷梅対策協議会の成果について
- ふるさと納税
- 公共施設の有効利用について
- HP「なんでも通信」「提案箱」について
- 公的なイベント情報について

なかもと こういち  
中本光一 議員



## 防災 津波避難施設の設置は、いつ頃の予定か？

➔ 来年度の整備着手が行えないか考慮中



**質問** 防災対策についての質問です。

一昨年12月・昨年3月と9月にも質問させて頂きました、避難困難地域に於ける避難タワーの設置の件です。

25年9月定例会におきましては、町長より

「一日でも早く取り組みたい。場合によっては、国・県の補助金がなくてもやらなければならぬものは勧めていく決意」と、回答頂きましたが、未だ形が見えてきません。いつ頃設置する予定か進捗状況をお聞かせ下さい。

**町長** どの程度のもの

をどのくらい、どの場所に整備するか調整が必要となつて参ります

ので本年度中にその見極めを行ないまして、調整がスムーズにはかどつた場合は早くて来年度の整備着手が行えないか考えています。

なお、限られた財源で防災対策を進めるにはどうしても国や県等の補助金の活用が必要と考えていますので、本年度において補助金の選定も行っていきたくと考えています。

### 生活

- (一)ゴミ袋の色の改良
- (二)小型家電製品の無料回収

**質問** 一件目のゴミ袋の改良分について、結び目を付け

て扱い易くなった反面、批判点として

①色が透明過ぎる  
②厚さが薄くなった  
と言われています。

特に①につきましては、女性の方は深刻な問題で現在スーパリーの袋や新聞紙に入れてからゴミ袋に入れ、二重手間を招いています。鋭意努力して同価格にて、この二点について再度改良して頂けるようお願いいたします。

二件目です。田辺市は本年4月より、家電製品に含まれる希少金属（レアメタル）の有効活用が目的で、ノートパソコンや電子レンジなどの小型家電製品について、指定ゴミ袋に入る物は【資源(ごみ)】として無料回収を行っています。

**町長** みなべ町におきましても、ご一考の程よろしくお願ひします。色が透明過ぎる

ことですが、現在使用していますレジ用のゴミ袋の材質は低密度ポリエチレンを使用している袋となつています。この袋につきましては他の薬剤を入れると透明度がゼロにもなりま

すし、田辺市のような普通のナイロン袋状にもなります。今後につきまして、現在焼却灰の中に空き缶等の不燃物の混入が一日当たり少ない時で50個程度、多い日には150個から200個混入されています。透明にしなくても良いよう重ねて分別のお願いをしたいと思ひます。厚さにつきましては、旧の袋と変わりなく材質の違いにより、薄く感じたり、伸びやすくなつています。

普通の方が希望しているように単価が現状でいける範囲で色を付けるよう、ご検討をお願いいたします。

**町長** 単価の面も踏まえながら、みなべ町としてどの程度の透明度であれば容認できるのか等について検討させて頂きます。

### ※他の質問

- 議会のインターネット配信
- 町保有の駐車場の無断駐車
- 源泉徴収漏れ



なか い しげ お  
中井重雄 議員

## 生活 梅枯れの再発防止を!

### ➔ 関係機関と連携して対処を

#### 御坊火力発電所の 現状は?

**質問** 旧南部川村当時、梅枯れが大きな問題となり御坊火力発電所の燃料が原因ではないかと言われ、限りなく黒に近いとも言われました。

その後、原子力発電所の稼動が増えたことなどから御坊火力の稼動が激減し梅枯れも終息したかのようにになりました。

しかし福島原子力発電所の事故以来、原子力発電に対する安全性も見直されて原子力発電が事実上ストップし、火力発電の比重が大きくなってきました。

それともない御坊火力発電所の稼働率が上がってきています。燃料も多く使い昨年10月には203キロリットルもの燃料がたかれ、今年1月、2月に

も180キロリットル以上の燃料が使われています。

まだ稼働率が増える可能性もあり、梅枯れ問題の再発も懸念されます。

#### 関電からの報告は ありますか?

梅枯れ問題当時、発電量や燃料使用量を関電から報告してもらったようになっていたと聞いていますが今はどうなっているのでしょうか?

みなべ町の大切な農産物の梅は、価格の下落や後継者不足など大きな問題をかかえています。御坊火力や梅の状況にも注視し梅枯れがまた広がることのないようにしっかりと見守っていかねばならないと思います。町長のお考えをお聞かせください。

**町長** 梅の生育不良、

梅枯れ問題につきましては幾度となく議論を重ね、調査研究に取り組んでまいりましたが、御坊火力発電所との関連には至りませんでした。しかしながら、より一層大気汚染に配慮した施設運営を関西電力に求めた結果、大気汚染物質削減策といったしまして脱硫装置や脱硝装置、電気集塵機の施設等改善が行われ、平成15年12月から稼働しております。現地調査も行い平成12年をピークに梅枯れ発生本数は大きく減少してきておりますが、発生が止まったわけではありませ

ん。発電量や燃料使用量については、関西電力から毎月報告を受けております。

それ以外にも保健所の方でも調査を行い報告があります。

過去の状況からいくと、御坊火力発電所の稼働率が30パーセント台と高かった平成16、17、18年より、5〜6年後に枯死が増えてきております。

今後も梅生産の維持発展を図るため大気環境の変動に注意しつつ、生育不良の発生状況の把握に努めるとともに県の関係機関と連携して対処をしたいと思います。



御坊火力発電所



さ さ き よしのり  
佐々木 香徳 議員



## 安全 駅前防犯カメラの性能および 管理ルール整備について

### ➔ 要綱を整備し、条件を明記



防犯カメラ設置予定のJR南部駅前

**質問** 機械的な性能について。24時間稼働で360度撮影可能でしょうか。地上何メートルに設置しますか。町内には防災カメラが設置されインターネットで中継されますが、人の顔どころか、服が半袖か長袖かもわかりません。ただ、辺川のカメラは細かい部分まで写ります。これに対し、駅前カメラは通行人の顔など「これは誰」と識別できる画像を撮影するものと思われ、見本の画像をこの場で提示して下さい。撮影

データは、管理ルールで機器取扱者を限定、施錠、保存期間などを決めておくべきです。提供について、「警察」とは具体的に誰でしょうか。「捜査」とは発生済みの刑事事件に限り、交通取締りは含まないと断言できますか。手続や方法をどのよう

に想定していますか。京都府のガイドラインでは、「画像を複写して提供する場合」は裁判官の令状による」と厳しい条件をつけています。各地の自治体が「防犯カメラの設置及び運用に関する条例」を制定し、自治体以外の設置者にも義務を課しています。これらに習うべきです。

**町長** 機種はキャノンVB-M40B、街路灯の高さ6m。24時間360度可能ですが、設置時の設定により撮影箇所や切替え有無が変

わります。設置管理要綱を整備し明記します。保存は原則2週間で自動消去です。要請は刑事訴訟法197条2項により公文書として頂きます。記録媒体で提供します。不特定多数の皆さんを撮影するので、プライバシーに十分配慮しなければと考えています。

**再質問** 辺川の防災カメラと同じ機種だと事前に聞きました。その画像を見て下さい。服装や髪型は識別できま



す。これをネットで公開するのは見えすぎない気もしますが。

設置管理条例が必要です。条例なら設置が民間でも規制できます。交通取締りは目的外だからダメという条文を作って頂きたい。

**町長** 辺川の画像をホームページで見せていいのか、逆に危惧します。町のカメラは要綱を作りますが、今後、民間が設置すれば条例化の必要も。交通取締りには出さない方向で考えています

が、一切出さないのではなく、刑法法で申し込まれた場

合、検討の上、最終的に個人情報保護審査委員会の意見を聞いて対応して参りたい。

**再々質問** プライバシーの権利は憲法13条から来るものです。先ほどのゴミ袋の透明度もプライバシー問題です。両面の利益衡量をしつつ進めて下さい。

**町長** 個人情報をご自分で守るか、シビアな意見の伺い、このような写り具合だよというのを見ていただき、答申を受けたいと思います。



辺川(東本庄)の防災カメラとその画像(上の写真)





きただにせいじ  
**北谷清治** 議員

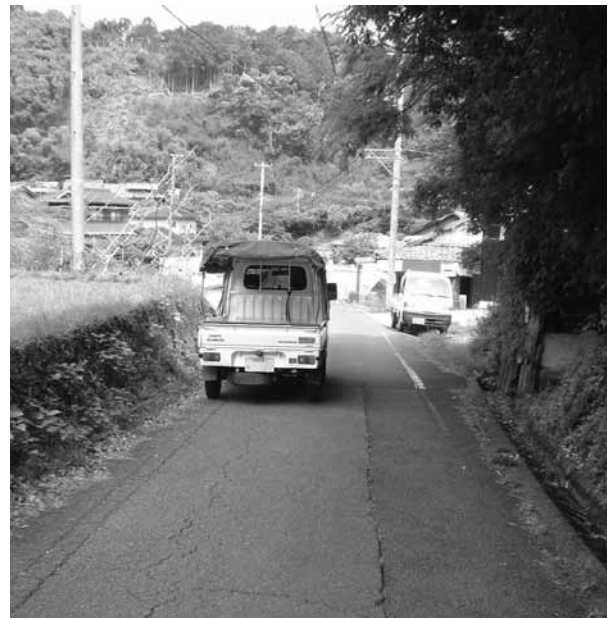
## 生活 山間地の町道整備

### ➔ 清川・名の内線の改良

**質問** 清川・名の内会館より上流部の町道改良についてお尋ねいたします。

この道は專業農家が多いこの地区の皆さんが、毎日頻繁に利用する町道であり子供たちの通学路でもあり、大事な生活道路であります。幅員が3.5mと4mと大変狭く、車両同士の相互通行が困難な場所もあります。

平成23年9月の台風12号による大雨災害時には、路肩の崩壊や土砂崩れなど数ヶ所が寸断され、遠回りをするなどして大変ご苦労されました。今回事業化に向けて進めていただくことは大いに歓迎するものであり、要望してまいりました地域の皆さんにとっては、この上ない朗報であります。そこでわかっている範囲での概要をお聞か



せいただければと思います。

まず1点目としまして、今後の改良計画は、

2点目としまして、

改良区間は、

3点目としまして、

幅員は、

4点目としまして、

完成予定は、

**町長** 来年度に事業化

に向けた採択要件をクリアすることがまず先決となっております

ので、本年度は概略設計を実施します。

改良区間は全体としては約2500mで、一番奥の山崎橋付近までを予定しています。

幅員について

は路線の一日の

交通量や、その

中に公共施設が

あるかなど、県

との協議により

決めていくこと

になります。地

元の意見も聞く

こととなります

が、最終的には、費用対効果及び



経済的な観点から決定されることなるうかと思えます。まずは採択されることが先決です。

完成予定は1期約1kmを5年、2期目は残り約1.5kmを6～7年にかかるのではないかとみています。

**再質問** 幅員について

は避難道路としての利

用と、県道田辺龍神線

に接続されていること

から結構利用もあり、

将来的には2車線は必

要だと思えますが、

**町長** 補助にかかる部

分の幅員と単独で上乘せる幅員の部分。フルツラインは15車線ですが、町単独で2車線に上乘せしてもらったり、須賀橋に歩道がなかった部分を単独で付けたり。これらにつきましては今後、地元の皆様と用地の関係もございましてので相談できればと思っております。まずは採択されるよう努力してまいります。



# 総務文教常任委員会 活動報告

平成26年6月16日 岩代小学校で新プールの竣工式とプール開きが行われました。



6月16日に岩代小学校で新プールの竣工式とプール開きがおこなわれました。

旧プールは学校から遠く離れた位置にあり、移動に時間がかかり大変苦勞をしていました。また、移動中の交通の安全性や、海拔の低い川沿いに位置していた

ため、津波に対する危険性もありました。

新プールは、小学校グラウンドからすぐ下に位置しそれらの問題が解消され、そこ繋がる階段は周辺地域の津波避難路としての役割もあります。



プールの竣工式では、バルセロナオリンピックの岩崎金メダリストの岩崎恭子さんにお越しいただき、トークショーという形で記念講演がおこなわれました。

また、プール開きでは、テープカット後に岩崎さんの水泳指導がおこなわれ、児童たちは岩崎さんと一緒に楽しく嬉しそうに泳ぎました。





# 産業建設常任委員会 活動報告

## 平成26年4月23日 すさみ町ゴミ焼却場の視察を行いました。

### すさみ町ゴミ焼却場

みなべ町では、今年3月に焼却場が稼働停止されました。それに伴い今後3年間すさみ町にゴミの焼却処理を委託することになっていきます。

産業建設委員会では委託が始まって3週間経った4月23日にその稼働の様子を視察してきました。

当日は吉本副町長、西口生活環境課長同伴



すさみ町ゴミ焼却場

（処理しきれないゴミを一時保管する施設）を確認しました。想像より大きな容積があり、益や正月の大量にゴミが出る時期にも十分に



ストックヤードの内部

のものと、現地にてすさみ町の担当課長、担当者から丁寧に説明をさせて頂きました。

まずは前回視察時には工事中であったストックヤード



ストックヤードの外観

との感想を持ちました。みなべ町から持ち込まれたゴミ袋が積み重ねられて焼却を待っていました。

次に焼却灰が排出される場所に移動しました。みなべ町名入りのコンテナ（アームロー



排出された焼却灰の山

ル車により運搬、腐食防止のために内壁をステンレス張り）に灰が



焼却灰の拡大画像

貯められていました。この焼却灰は搬入したゴミの量に応じて持ち帰ることになっており、町内のゴミ最終処分場へ搬入し、埋立て処分されます。焼却灰のアップ画像に注目してください。空き缶、陶器、電線等焼却されなかったゴミが灰の中に混じっています。他の町へ焼却をお願いしている立場ですから、なお一層分別を徹底して、みなべ町からのゴミにはこういう不燃物が混じっていないようにしたいものです。町民の皆さま、引き続きご協力をお願いします。

焼却場の視察後、場所をすさみ町役場へ移し、岩田勉町長を訪問しました。気さくなお人柄で私たちを歓待して頂きました。まずはみなべ町の可燃ゴミを快く引き受けて頂いたことへの感謝を申し上げたところ「困っている時はお互い様じゃないですか。すさみ町民は両手を挙げて賛成してくれましたよ」と言ってくれ、胸のつかえが下りる思いでした。その後、雑談となり、高速道路延長に伴うすさみ町の夢（道の駅）を語って頂きました。



すさみ町長と町長室にて

### すさみ町長との会談

# 議会活性化特別委員会 活動報告

## 5月議会から本会議のネット配信(生中継&録画)を開始しました!

5月定例会が20日に開会し、本会議で行われる一般質問や議案審議などの様子をインターネットを使って配信する取り組みが始まりました。初日は提案された議案の説明などを「ユーストリーム」で生中継し、録画もおおむね1日後「ユーチューブ」で配信しています。

町議会活性化特別委員会が町民の利便性の向上や議会の活性化などを目的に導入を決めたものです。

以前から、本会議場に設置している2台のカメラを使い、庁舎内に議会の様子を中継してきました。インターネット配信はこのシステムを活用し、動画サイト「ユーストリーム」などを使って配信できるようにしたものです。

町民の皆さんに、より身近に議会を感じていただくことにつながれば幸いです。

### ●みなべ町議会インターネット配信(生中継)の見方



①みなべ町のHPを開く



②画面右下の「みなべ町議会インターネット中継」をクリック



③上記「ユーストリーム」画面に移動再生ボタンをクリック

### ●みなべ町議会インターネット配信(録画)の見方



①上記の動画再生画面  
左下「議会中継(録画)」をクリック



②上記「YouTube」画面へ移動  
見たい録画メニューをクリック





# 追跡調査 議員の質問とその後の行方

あのか、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

## 平成18年9月定例会 一般質問

青梅、梅干の消費拡大、価格安定についての今後の対策、見通しは

町長答弁

従来の梅振興対策に加え、現状にあった対策をしていく必要がある

どうなった

## 結果

梅産業の振興を図るため、梅関係機関と連携して消費拡大に努めるとともに、世界中に梅をPRするため世界農業遺産登録に向けて取り組んでいます。

今後も機能性研究・スポーツ関連商品開発・海外市場への販路開拓等各種事業を展開し、梅振興対策に取り組んでまいります。

## 平成19年3月定例会 一般質問

人口増による町の活性化を図るため「官民見合機関」を設置し、結婚を促進しては

町長答弁

過去に実施した出雲会（集団見合）を参考に成功する方法を検討

どうなった

## 結果

和歌山県では平成25年度より「わかやま出合いの広場」という婚活サポート事業を展開しています。また、商工会や観光協会等の各種団体が開催している婚活イベントもあります。

町としてはわかやま婚活応援隊に参加し、広報等で案内するなどしながら、気軽で参加しやすい広域的な婚活を官民一体となって継続的に推奨して行きたいと考えています。



議会FB開設

フェイスブック(FB)にみなべ町議会のページを開設しました。「みなべ町議会」で検索してください。議会予定、議員活動等をタイムリーに発信して参りますので「いいね!」を押して注目してください。



●議会傍聴での感想・意見

5月議会 70代女性

・感想

「2名の一般質問を聞きましたが、町長さんは大変良く対処していただけるので、うれしく思います。今後もよろしくお願いします。」

・意見

「介護保険については、大変受けにくいようですので、もっと受けやすいように工夫していただきたいと思います。」

●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでも構いません、お寄せください。

みなべ町議会だより No.37

平成26年8月1日発行

発行 みなべ町議会

編集 議会広報特別委員会

〒645-0002

和歌山県日高郡みなべ町芝742

TEL 0739-72-1334

FAX 0739-72-1335

# ようこそみなべ町へ

他市町から嫁いで来られたお嫁さんの紹介コーナーです



れいこ かずや  
長井令依子さん&和也さんご夫妻

みなべ町へ嫁いで来たお嫁さん、今回は大阪府岸和田市出身で平成26年4月22日に長井和也さん(芝)と結婚されました長井令依子さん(旧姓:杉原)の紹介です。

**Q** どんなきっかけで、和也さんと知り合いましたか？

→インターネット上で知り合って、仲良くなってから和歌山市の井出商店にラーメンを食べに行っていたのがきっかけです。

**Q** みなべ町に嫁いできて感じたことは？

→岸和田市と違ってのどかな所だなーと。ある程度聞いてはいましたが、予想以上に電車が少なかったです。ペーパードライバーだったので、車に慣れるまで少し不便でした。

**Q** 町での生活はどうか？(楽しい新婚生活のエピソードもあつたらお聞かせください。)

→地理を含めてまだ慣れない事もありますが、主人やお義母さんに助けて貰いながら毎日楽しく生活しています。

**Q** 町に望むことはありますか？

→変更したばかりなので難しいと思いますが、町指定のごみ袋が以前の物の方が使い勝手が良かったです。今の物は手提げがあつて便利ではあるのですが、ごみ箱にセットしにくいのです。

◎長井令依子さん、ご協力ありがとうございました。

岩代小学校の新しいプールが完成し、竣工式にバルセロナ五輪金メダリストの岩崎恭子さんがお越しになり、記念トークショーと水泳指導をしていただきました。児童たちはもちろん、保護者の皆様も新プールの完成を喜ばれていることが印象的でした。

地域のために地元の皆様が協力し合うことは、コミュニティの力を強め、それが地域の子育てや教育、そして地域防災などの強化に繋がります。

地元の念願であつた新プール完成の喜びと同時に、地域コミュニティの大切さを改めて感じました。今後さらなるコミュニティの強化に繋がる活動をおこないたいと思います。

広報特別委員会  
委員長 原田 寛

## 編集後記